

番号	
項目	<p>購入土砂の投入の中止と生物への配慮の実施</p> <p>当協会の調査で、ツツイトモ（環境省レッドリスト 2019 絶滅危惧 II 類（VU））など希少な植物の生育やコアジサシなど野鳥の営巣行動も確認されました。コアジサシは、種の保存法では国際希少野生動植物種に指定され、環境省によって保全・配慮指針が作成されています。雨水のたまった池には時には万を数えるほどのカモ・シギ・チドリが羽を休める渡りの一大中継地となっています。水辺を安易につぶせばシベリア・オーストラリア方面のルートを利用するこれらの生きものの生存行動に大きな影響を与えます。環境アセスメントの結果がでるまで、土砂投入工事を止めていただきたく要望します。</p>
	<p>（回答）</p> <p>夢洲の埋立に関しては、1977 年及び 1981 年の埋立免許取得時に公有水面埋立法に基づく環境影響評価を実施しており、海面の埋立工事に伴う環境への影響さらには埋立に伴う地形の変化及び土地利用による環境への影響について評価しています。一方、工事中に工事区域に新たに生じた生物環境への影響については評価項目となっていないため、万博会場予定地の土地造成工事に際しては、環境省の保全・配慮指針に基づき、昨年 6 月にコアジサシの繁殖コロニーが形成されていないことを確認のうえ、同年 7 月に工事着手しております。</p> <p>ご指摘の環境アセスメントは、万博の実施主体である公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会（以下、協会）が、大阪市環境影響評価条例に基づき、土地造成完了後の万博会場の整備（開発行為）や舞洲に設置を計画している駐車場候補地を対象とした環境影響評価（環境アセスメント）を実施しているものであるため、土砂投入工事（埋立）は含まれておりません。</p> <p>今後も、環境省の保全・配慮指針に基づく対策を講じながら、埋立工事の進捗を図っていくこととしております。</p>
担当	<p>経済戦略局国際博覧会推進室 電話：06-6615-3028 港湾局営業推進室開発調整課 電話：06-6615-7798</p>